

## 広島県教育支援センター（SCHOOL “S”）の活動状況について

### 1 趣旨

県内の国公私立学校の児童生徒を対象として、対面とオンラインの両面から社会とつながる場を提供するため、令和4年4月1日にSCHOOL “S”を開設し、個々の状況に応じた学びを支援することを通して、社会的な自立に向けて必要な力を育てる取組を進めている。

### 2 活動状況（令和4年度）

- (1) 問い合わせ件数 346 件
- (2) 利用登録者数 212 人（小学生 122 人 中学生 90 人）
- (3) 1日の平均利用者数（令和5年3月1日～24日） ※小数第2位以下四捨五入

利用方法	小学生	中学生	計
来室利用	19.6 人	11.9 人	31.6 人
オンライン利用	10.0 人	8.2 人	18.2 人
計	29.6 人	20.1 人	49.8 人

#### (4) 利用している児童生徒の感想等（一部抜粋）

- ・ 自分の興味があることを自分のペースでできるから、とっても居心地がいい。
- ・ 畑で何かを作るのが好きで、スタッフの人が付き合ってくれるから楽しい。
- ・ 図書委員会で県立図書館を訪問した。本の並べ方とかも教えてもらえてとってもいろんなことが学べた。学びの発見があった1日だった。
- ・ 私が成長したことは、コミュ力が上がったこと。新しい人がどんどん入ってきて、そんな人と話していたら、初対面の人とも話しやすくなってきた。
- ・ 家にいるより楽しい。友達ができて一緒にいる時間が嬉しいし、自分が出せている学年の子たちとかかわることができる。自分が出せるようになったことがいいこと。



# 広島県教育支援センター（SCHOOL“S”）における支援

## 心のふれあい相談室（県立教育センター内）

### ◆相談業務（不登校等・いじめ）

電話相談・来室相談  相談指導員・心理療法士

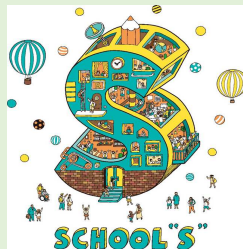
### ◆教育支援業務（県の教育支援センター）

愛称：SCHOOL“S”  
（スクールエス）

児童生徒（Students）が  
自分で選んだ（Select）  
秘密基地（Secret）のようにワクワクする  
特別な（Special）場所（Space）



名誉校長  
中邑賢龍 教授  
東京大学先端科学技術研究センター



イラストロゴ

個別の学習支援にかかる相談

↓  
個別サポート計画の作成

↓  
個々の児童生徒に応じた時間割（MY 時間割）を作成

MY 時間割で活用する学習方法の例

毎日（月曜日～金曜日）開設  
※ 月曜日はオンラインコンテンツの利用のみ

来室による利用  
（多目的ルーム・学習ルーム等にて）

- ・教科書や問題集による各教科等の学習
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・体験的な活動  
（農作業・調理実習・スポーツなど）
- ・探究的な活動 など
- ※ 来室時にオンラインを利用することも可能

参加



## 子供たちの学びの選択肢の一つとしての機能を強化

- ◎ 学びの場としての環境づくり ◎ オンラインでの利用ができる機器を整備

### 学習状況等の共有

オンラインによる利用

オンラインによる利用

通室による利用

### アウトリーチ

※特に必要な場合

オンラインによる利用

連携

大学等専門機関  
NPO法人等

SSR

スペシャルサポートルーム

学校

通常の教室

通学

選択

各市町  
教育支援センター  
（校外適応指導教室）

通室

民間団体  
（フリースクール等）



SCHOOL“S” 外観図

「LEARN in 広島」や「オンライン学びプログラム・オンラインクラブ活動」 ※SCHOOL“S”利用者に限らず、県内の小中学生の参加が可能